

CASBEE® 熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	(株)三井ハイテック阿蘇事業所	階数	地上1F		
建設地	熊本県阿蘇郡西原村大字鳥子字梅	構造	S造		
用途地域	指定なし	平均居住人員	XX 人		
気候区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年		
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2018年1月 竣工	評価の実施日	2017年6月29日		
敷地面積	21,100 m ²	作成者			
建築面積	3,904 m ²	確認日	2017年7月3日		
延床面積	3,904 m ²	確認者			

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)																																															
		BEE = 1.0																																													
		$\text{BEE (環境効率)} = \frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$																																													
<p>■ 環境効率評価基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ランク</th> <th rowspan="2">ランク表示</th> <th rowspan="2">評価</th> <th colspan="2">判定値</th> </tr> <tr> <th>BEE値</th> <th>Q値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S</td> <td>★★★★★</td> <td>素晴らしい</td> <td>3.0以上</td> <td>50以上</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>★★★★</td> <td>大変良い</td> <td>1.5以上3.0未満</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>B+</td> <td>★★★</td> <td>良い</td> <td>1.0以上1.5未満</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>B-</td> <td>★★</td> <td>やや劣る</td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>★</td> <td>劣る</td> <td>0.5未満</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		ランク	ランク表示	評価	判定値		BEE値	Q値	S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上	A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—	B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—	B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—	C	★	劣る	0.5未満	—	<p>■ ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>判定値 (排出率)</th> <th>ランク表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30%以下</td> <td>☆☆☆☆☆</td> </tr> <tr> <td>30%超60%以下</td> <td>☆☆☆☆</td> </tr> <tr> <td>60%超80%以下</td> <td>☆☆☆</td> </tr> <tr> <td>80%超100%以下</td> <td>☆☆</td> </tr> <tr> <td>100%超</td> <td>☆</td> </tr> </tbody> </table>		判定値 (排出率)	ランク表示	30%以下	☆☆☆☆☆	30%超60%以下	☆☆☆☆	60%超80%以下	☆☆☆	80%超100%以下	☆☆	100%超	☆
ランク	ランク表示				評価	判定値																																									
		BEE値	Q値																																												
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上																																											
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—																																											
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—																																											
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—																																											
C	★	劣る	0.5未満	—																																											
判定値 (排出率)	ランク表示																																														
30%以下	☆☆☆☆☆																																														
30%超60%以下	☆☆☆☆																																														
60%超80%以下	☆☆☆																																														
80%超100%以下	☆☆																																														
100%超	☆																																														
<p>■ ライフサイクルCO₂排出性能 (ランク表示)</p>		<p>排出率</p>																																													
		<p>#DIV/0!</p>																																													

2 熊本県重点評価結果

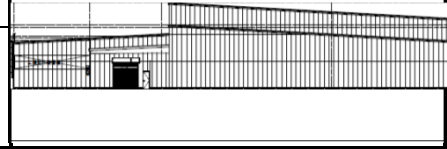
■ 重点事項総合評価		評価点													
		<p>62</p>													
<p>【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進</p>	<p>37.5</p>	<p>■ 熊本県重点評価基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>判定値 (評価点)</th> <th>ランク表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100点以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>80点以上100点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>60点以上80点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点以上60点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点未満</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		判定値 (評価点)	ランク表示	100点以上		80点以上100点未満		60点以上80点未満		40点以上60点未満		40点未満	
判定値 (評価点)	ランク表示														
100点以上															
80点以上100点未満															
60点以上80点未満															
40点以上60点未満															
40点未満															
<p>【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現</p>	<p>71.6</p>														
<p>【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全</p>	<p>85.7</p>														
<p>【重点事項4】 循環型社会の実現</p>	<p>79.5</p>														

※評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE®熊本《新築》| 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	㈱三井ハイテック阿蘇事業所	階数	地上1F
建設地	熊本県阿蘇郡西原村大字鳥子字梅	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	XX 人
気候区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年1月 竣工	評価の実施日	2017年6月29日
敷地面積	21,100 m ²	作成者	
建築面積	3,904 m ²	確認日	2017年7月3日
延床面積	3,904 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 3.0**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.0**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価 **評価点 = 62**

重点事項1: 温室効果ガス排出量削減の推進 **評価点 = 37.5**

重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現 **評価点 = 71.6**

重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全 **評価点 = 85.7**

重点事項4: 循環型社会の実現 **評価点 = 79.5**

重点事項の評価(レーダーチャート)

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE®熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

環境に配慮し、敷地の広さを利用した余裕のある形状とし、シンプルで周辺に影響の少ない建物として計画しました。

Q1 室内環境

F☆☆☆☆を採用し、化学汚染物質被害を防止します。

Q2 サービス性能

維持管理の省力化を図る為に耐久性の高い屋根・外壁材を採用しました。

Q3 室外環境（敷地内）

周辺環境に配慮した低層でシンプルな建物形状としました。

LR1 エネルギー

LED照明を採用し、省エネに配慮します。

LR2 資源・マテリアル

特になし

LR3 敷地外環境

光害対策の為、広告用照明の設置を行いません。

その他

注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.0
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音								
1.2 遮音								
1 開口部遮音性能								
2 界壁遮音性能								
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音								
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
1 室温								
2 外皮性能								
3 ゾーン別制御性								
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
3 光・視環境								
3.1 昼光利用								
1 昼光率								
2 方位別開口								
3 昼光利用設備								
3.2 グレア対策								
1 昼光制御								
3.3 照度								
3.4 照明制御								
4 空気質環境								
4.1 発生源対策								
1 化学汚染物質								
2 アスベスト対策								
4.2 換気								
1 換気量								
2 自然換気性能								
3 取り入れ外気への配慮								
4.3 運用管理								
1 CO ₂ の監視								
2 喫煙の制御								
Q2 サービス性能			0.43					3.2
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ								
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応								
3 バリアフリー計画								
1.2 心理性・快適性								
1 広さ感・景観								
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画								
1.3 維持管理								
1 維持管理に配慮した設計								
2 維持管理用機能の確保								
3 衛生管理業務								
2 耐用性・信頼性		2.9	0.50					2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水・汚水・排水:B	5.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性			2.6	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.4	0.50	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	0.07<0.1	5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			2.6	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		1.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.5
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			-	-	-	-	-
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 - 住宅(専有部) 0.83	-	-	-	-	-
集合住宅以外の評価(3a.3b)			-	-	-	-	-
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	-
4 効率的運用			2.5	1.00	-	-	2.5
集合住宅以外の評価			2.5	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		2.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.60	-	-	3.1
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		軽鉄下地	4.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	グラスウール断熱材	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		高効率機器の採用	-	-	-	-	-
2 地域環境への配慮			3.5	0.50	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止			5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制		1.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	ゴミストックスペース計画、室内外にゴミ回収容器設置計画、ビン・缶の減容	5.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.50	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	公害対策ガイドラインのチェックリストの過半を満たし、広告物照明なし	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

建物名称 **㈱三井ハイテック阿蘇事業所**

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2015年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		62
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)	スコア	重み 係数				
① 温室効果ガス排出量削減の推進				37.5	0.40	15.00
Q1-2.1.2	外皮性能	0.0	0.00			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	0.0	0.00			
Q1-3.2.1	昼光制御	0.0	0.00			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	0.0	0.00			
LR1-2	自然エネルギー利用	0.0	0.00			
LR1-3	設備システムの高効率化	0.0	0.00			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.50			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	1.0	0.50			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				71.6	0.20	14.32
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	0.0	0.00			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.33			
Q3-1	生物環境の保全と創出	3.0	0.20			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.27			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.20			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				85.7	0.20	17.14
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.29			
LR2-1.1	節水	4.0	0.43			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.29			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.00			
④ 循環型社会の実現				79.5	0.20	15.90
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.2	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①~④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数